

顔の見える木材での快適空間づくり事業

【テーマ】広葉樹“Wood Wall Art プロジェクト” 高付加価値壁面装飾の普及拡大

背景と目的

【背景】

- ・南会津町は広葉樹資源量57,000haを誇るが、需要喚起の「武器」がない
- ・デザイン×広葉樹×ものづくりの融合による**Wood Wall Art**プロジェクト始動

【目的】

- ・Made in Minamiaizuブランド構築に向け、**Wood Wall Art**製品の普及拡大

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- 高いデザイン性・広葉樹の個性と資源量・ものづくり技術の融合によって生まれた**Wood Wall Art**でグローバル市場の展開を目指す
- 製品ラインナップは①「スタンダード(サイン)」、②「セミオーダー(タイル)」、③「フルオーダー(アート)」の3パターンを構成
- ①「スタンダード(サイン)」…規格木製サイン(4種の加工方法で製作)
- ②「セミオーダー(タイル)」…規格化された複数のタイルの組合せ
- ③「フルオーダー(アート)」…設計/デザイン/樹種まで全てフルオーダー

写真・図等



菱形マジック



木織

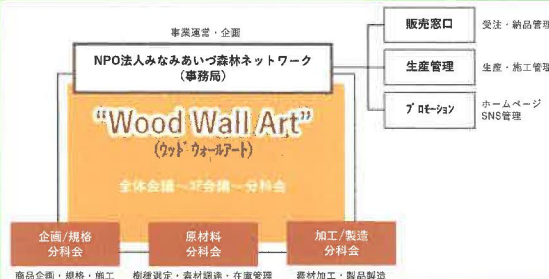


森水面

事業実施主体

特定非営利活動法人みなみあいづ森林ネットワーク

実施体制・連携グループ



・3つの分科会を設定

- ①原材料分科会(7社)
- ②加工/製造分科会(6社)
- ③企画/規格分科会(6社)

- ・デザイナー: 澤山乃莉子 氏
- ・アドバイザー: 髙木 物林

事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

①事業実施体制の運営

- ・分科会毎に安定供給のための課題を議論し、調査等を実施
- ・先進地事例調査と勉強会の開催

②開発製品のブラッシュアップ

- ・樹種・塗装着色・強度等の再検討を行い開発製品のブラッシュアップ
- ・市場ニーズ調査を行い生産体制・普及啓発活動に反映

③普及啓発活動の実施

- ・PRのためのモデル実機の施工(2箇所:南会津町・郡山市)と調査
- ・ウェブサイトの開設(ホームページの充実、SNSサイト運営)
- ・プロモーション動画の撮影・発信(ウェブサイトやYouTube利用)
- ・展示会・イベント出展(※コロナ禍の影響による)

④木育製品等への展開

- ・Wood Wall Art for Imagination の開発(2種:木育活動・商材利用)
- ・ワークショップの開催(1~2回)

⑤人材育成の実施

- ・デザイナー澤山氏による製品開発研修会の開催(1回)

⑥事業の報告

- ・報告書の作成と報告会開催

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

全体会議・コア会議・分科会(企画の検討検討)・市場調査

普及啓発活動の実施

木育製品等開発

製品ブラッシュアップ・実機製作・研修会

振り返り・調整

報告